



親子支援だより

ほっと通信6月号 No.3

毎日、家事や育児を頑張るお母さん。このおたよりを読みながら・・・

①ほっとひと息ついて②ホッと安心し③ホット (HOT) な温かく優しい気分にかまれますように...♡ いつでも応援しています。共に歩みましょうね！

平成30年6月1日 (金)

浜松学院大学付属幼稚園

【教頭】山梨明子：著発行

【心の相談員】中島祐子：添文

今月のテーマは『母であること&働く人であること』です。ほっと通信の感想でいただいたコメントは右下の矢印です。まずはこちらをお読みください。…いかがでしょうか。『全力で取り組める仕事があったいな』とか、『母として…働く女性として…』なんて、大いに共感できますね。これに関しては、私も正直難しいなあと感じることもありますが、これはとても深く大切なテーマですよ。

実は、これを読んだ私は、すぐに思い当たるがありました。それは、ある時、我が家の三女が私に言った言葉です。「ずっと前はお母ちゃんみたいに幼稚園の先生になりたいと思ってたけど、やっぱりやめる。だって帰ってから休みの日も仕事が多くて大変そうだもん。」と言ったことです。これはなかなかショックでしたよ～。ちょうどその頃は、幼稚園に卒園児がやってきて「幼稚園の先生になりたい」と話してくれたり、卒園児のお母さんから「うちの子どもが先生のことをずっと覚えていて、“いつか先生みたいになりたい”って言ってますよ」と聞いたりして喜んでいたので…。働く場ではありがたい受け止めをされていても、肝心の我が子には逆の受け止めをされ…。何とも悲しい現実でした(笑)…幼稚園の楽しさや仕事の醍醐味もたくさん話してきたつもりなのにね…

こんな風に、家庭の状況も違えば、仕事の有無や仕事内容も異なるし、周囲の人々の受け止めや評価もそれぞれですよ。ですから、自分の評価は自分でオッケー！いかに『自分らしく生き生きと過ごせるか』ということに尽きると思います。例えば、仕事としての勤務はなくとも、母である『親業』と、家庭をマネジメントする『家業』だけでも大変な労力ですし、むしろ『子どもを育て、家庭を維持する』ということは、重要な社会貢献のひとつであると思うのです。そして、育児や家事は、時に仕事よりも難題だと感じることもありますよね…！

そんなわけで、日々、家族の健康と幸せを守るべく『母業』をされている皆さんは、それだけで素晴らしい輝きを持っているということ！また、このお母さんのコメントに『まだ今は点と点の状態ですが、線になれるように努力しているところです』とありましたが、実は点ではなく、すでに線になっているのかなと思います！点と点の間に空白があるわけではなく、母としての日々の営みがちゃんとつながって線を描いていると思うのです。もちろん線の軌道は紆余曲折で、時には曲線あり起伏あり往復あり…色々あって良いな～と思います。ちなみに、私の線は同じところをずっとぐるぐるしている気がします(笑)

そして、『母業』も『仕事』も大変だけれど、わが子や周囲の人たちと心が通う喜びを感じながら、苦勞を楽しさに変えていけたらいいですね！…そう、楽しさといえば、私は5月に黄組さんと田んぼに行きました。田植え後の泥遊びはおもしろかったですよ～！子どもたちと一緒に泥まみれになり心から楽しいと感じました。こんな歳になっても泥あそびを体験できる私はつくづく幸せです！そして、お母さんたちも同じだと思います。貴重な乳幼児～学童期にしか味わえない子どもとの楽しい体験。子ども時代にしかできない親子の会話。そんなひとときを大事にしながらささやかな幸せを味わいましょう！

こんにちは！入園と進級、そして大型連休を経て、それぞれの子ども達なりに園生活に馴染んできた頃かと思えます。親御さんのお疲れは出ていませんか？自分のことでいっぱいの子ども達に替わり、「毎日毎日本当にありがとうございます」をお伝えしたいです♡

少し前に、朝ドラ『半分青い』の中で、思わず書き留めたくなったセリフがありました。このドラマは、勉強は嫌い！けれど絵を描くことが大好き！奇想天外な発想で日常を楽しめる賜物（と私は思います！）を持って生まれた女の子“すずめ（鈴愛）”が、小学3年の時に感染症で突然左耳が聞こえなくなるものの、そのような予想外の人生展開をもユーモラスに捉え、生来の真直ぐな明るい性格で、様々な出会いや出来事を通し、周囲を巻き込み、巻き込まれながら、“すずめ”らしく逞しく成長していく物語です。（かなりざっくりの説明でシツレイ！）今回の朝ドラに妙に惹かれるのは、私自身が生まれた昭和〇年代（ギリギリ！）とまさにかぶっているからなんです！当時の流行歌や髪型にファッションに黒電話等々懐かし過ぎて～♪という話はこのあたりにして…その“すずめ”が、マンガ家を志して岐阜の東美濃から初めてひとり立ちする前日に、食堂を営む漫画大スキ父さんが、縁側ですずめにしみじみ語りかけます。「いつだって帰ってくればいいぞ。待つとる。お父ちゃんもお母ちゃんもおじいちゃんも“そうた”（弟）もふくろう町も待つとる。もちろん東京でがんばるのもいい、まああかん！と思ったら、いつだって帰ってこいよ。な～んにも心配することない、お父ちゃんもお母ちゃんもずーっと“すずめ”のお父ちゃんとお母ちゃんや。ずーっと“すずめ”の味方や。」

…このメッセージを聞いた時に、親の究極の役割ってこれなんだ！本当に困った時は、あるがままの自分を待っていてくれる最強の味方・応援団がいてくれる、それが心の深いところに在り続けるならば、山有り谷有り悲喜もごもごの人生を、きつと自分なりに歩んでいけるだろうなあ…。思春期になってから慌てて伝えられるようなことではありません。完璧、立派な親である必要はありません。その子しか持ち得ない、天から授かった素晴らしいユニークな種があって、自分らしく育ちたがっています。乳幼児期といういっぱいお世話の必要な土壌作りの今だからこそ、日常のすったもんだのやりとりを通して、「あなたの味方だよ」という魔法の肥料を、惜しみなく蒔いていけたらなあ…。そんなふうに願っています。心の相談員：中島祐子

お寄せ頂いた「感想」より…(全文を要約・抜粋した文です)

この園に決めた理由は先生方が全力で子ども達と楽しみながら遊んでいたことです。また、私自身働き方を考え周囲のママさん達をみていました。そんな時にふといつも全力で輝き働いている先生方が目に留まり「私も全力で取り組める仕事があったいな…。ふつふつと湧き上がってくるこの思い。やりたい事…諦めたくないな」と思うようになりました。今ではその気持ちが点と点の状態ですが、線になれるよう努力しているところです！

先生は幼稚園の教員でもあり、母親としては先輩で働く女性としては憧れでもあります。…中略…本当にみんな金メダルですね！いろいろな価値観が個性としてありますが、楽しく笑い合っ過ごす時間を大切に、残りの園生活を過ごしていきたいと思っています。そんな園には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます！

今月のほっとアドバイス

何より、親御さんが自分自身に向かって「あなたの味方だよ」と言ってあげられることが大切です。そのために、親御さんを支える周囲の“温かな人間関係”が必須なのです。私もその中のひとりであれたらなあと思っています。必要な時はお声おかけ下さい♡

6月のカウンセリング予定

- ★7日 (木) 空はありません
- ★14日 (木) 空はありません
- ★21日 (木) 13:00～14:00 は予約可
- ★28日 (木) は黄組参観会&合宿説明会のためカウンセリングはありません

7月のカウンセリング予定

- ★5日 (木) } 10:00～、11:00～
- ★12日 (木) } 13:00～ 予約可
- ★19日 (木) 9:00～、10:00～、11:00～、13:00～予約可
- ※8月は夏季保育のためカウンセリングはお休みです



◎カウンセリングは守秘義務を厳守します。また、カウンセリングの対象は付属幼稚園の保護者となります。予約の際は、在園保護者を優先しますが、空き状況により、未就園児活動に参加している保護者（当園に入園予定の方）と、当園卒園の保護者（卒園から1年以内に限る）を対象に、予約をお受けすることができます。また、未就園児のお子さんを連れてカウンセリングをする場合、託児を依頼することも可能ですのでご相談ください。(1回1,000円の実費)

◎カウンセリングの予約は、幼稚園に電話(☎472-5193)をし、希望の日時をお知らせください。その場で空き状況をお伝えして日時を決定します。(幼稚園の会議室で実施します)カウンセリングは無料です。

◎カウンセリング開始時間までは幼稚園職員室西側の廊下の待合椅子でお待ちください。